

Title: 「最後の謝謝」



Lines of sight

～それぞれのアジアへの視線～



中島 一恒
ジョンマリ・マシ
ヨー日本の皆さん
トウキダカラ。

● 最近のエントリー

- チェレンコフ
(2006.05.21)
- 今夜はプロガー
(2006.05.20)
- ～～～
(2006.05.20)
- カンボジア
(2006.05.01)

● アーカイブ

- 2006年10月
- 2006年09月
- 2006年08月
- 2006年07月
- 2006年06月
- 2006年05月
- 2006年04月
- 2006年03月

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校

NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

RZ F 2.0

最終の議論 > 2006年05月 アーカイブ

06.05.21

| チェレンコフ

マレーシアで二番目でかい自然湖、チニレイク。
古代ケーブル都市が沈没しどって、その財宝をロヂネスモンスターで竜が本氣で守りょーるて
看板がたっどー。
こりゃやったなら男がすたるわ！
ジャングルの小川を丸太舟で進む。後で聞いたらこの辺はトラとかワニもあったらしいけど。
日焼け、マスターDガブ食らったみたいに皮膚黒腫。
ガイイぐらい飼めば良かったわ。今泉君は大人植物に捕まつた。わしゃ助ける力もない。
湖ロータス。
あつーの、あつーの。かまがり人。まじムリテン。おやすみなさい。
休憩して頑張る。
身体張ってなんばじゅけしゃーない。多苦の島。

カテゴリー:

post by 中島 一恒 | 日時: 2006.05.21 | [パーマリンク](#) | [コメント \(63\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

最終の議論 > 2006年05月 アーカイブ

06.05.20

| 今夜はプロガー

てことじゅけ、今夜はやつたる。



カヤンカレンの村でスティさせて頂いたお宅のムッダアーさん(左)と妹のセラ(右)



この葉は家の前に

生えている木からむしめたもので、食べると非常に酢っぽく少し味わった事のない独特の香り
と食感がある。



カヤンの少女、観光客の類に慣れていて声をかけられれば直ぐに静止してくれる。

私がこの研修で撮影しているのが少数民族と呼ばれている人達で、これまでの撮影を通して感じた事を整理の為に書いておこうと思います。

例えは首長族（腰韁族）という言葉で知られているであろう彼等（カヤンーカレン）が世界のメディアに取り上げられる契機となったと言われているのは15年前のタイへの難民流出であり、以前はビルマの山岳地帯で比較的穏やかに暮らしていた彼等が唐突に世界中に知られる事となつたのである。無論、政治的思惑による圧力、プロパガンダも存在していたと言うのが、世界中の関心を集めたのは彼等の奇異な習慣であろう。すなわち、ある特定の女性（諸説あり、確定できなかった）は、幼い時より真鍮の首輪を嵌め成長に従い首輪を大きいものへと取り替えていく事によって、徐々に首を長くしていくというものである。

彼等にとって分水嶺になった出来事が政治的な事件ではあったものの、彼等の実際的な生活を変えた背景は貿易経済の渗透やグローバリズムの影響なんだろうと感じた。勿論生活はユピキタス社会どころか電気や水道すらある訳ではない。コーラはあるのに・・・。しかし同年代の人達と会話してもまた日本で友人と語る話題と変わりなかった。例えば学校の文句だから（失言）将来就きたい職業、両親と宿泊した話等を聞いていると、具体的な内容は違ってもどこで耳にしたような話もありでした。

この研修で訪れた多くの村がこういった状況でした。
グローバリズムの敷衍によって起こったこれらの均質化は、全ての東南アジアの少数民族に当たはまる事ではないでしょう。それに彼等の価値観の変化は極めて自然な事を感じました。
唯一残念だったのは、子供の頃の単純な未知の世界に対する憧憬が、叶わなかつた事ですね。畢竟するに、行く前にワクワクし過ぎました。秘境なんてなかなかあるもんじゃないです。

こういった印象が全体の撮影を通して強く感じられるので、当面は抑圧をどうにも防れない。

カテゴリ:

post by 中島 恒 | 日時: 2006.05.20 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[最後の讀書 > 2006年05月 アーカイブ](#)



カテゴリ:

post by 中島 恒 | 日時: 2006.05.20 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[最後の讀書 > 2006年05月 アーカイブ](#)

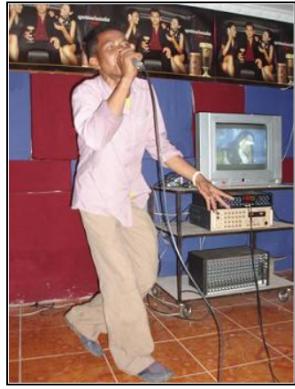
06.05.01

カンボジア





P4241601.JPG



早くも4ヶ国目のタイに入国しました。FW海外研修に出発してからは未だ1ヶ月強といった所ですが、本当に様々な人の出逢いを経験してきました。僅かな滞在ではありましたが、カンボジアのシェムリアップで親しくなれた方々には特に感謝しています。

カテゴリ:

post by 中島 恒 | 日時: 2006.05.01 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

Copyright 2007 All rights reserved NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

powered by OLYMPUS